

# きらめき

発行  
東北情報インフラユニオン  
仙台市若林区新寺一丁目2番7号  
TEL: 022-297-5196  
FAX: 022-297-5198  
発行責任者: 村上 良智  
編集責任者: 齊藤 慎也

## 通建連合『労働安全衛生強化期間』取り組み結果について

インフラ東北は、「安全労働はすべてに優先する」との基本認識のもと「安全で安心して働ける職場の確保」を目指し取り組みを実施しております。2023年2月1日～28日の期間においては、通建連合「労働安全衛生強化期間」として、各職場での安全グッズ（除菌ウェットティッシュ）配布による注意喚起や労使合同による現場第一線の作業員の方々との対話を重視したパトロールを実施させて頂きました。パトロールの様子は以下の通りとなります。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

### <パトロール実施模様>



### <対話内容（抜粋）>

#### Q. 各種安全施策についてどのように感じていますか（施策数や内容、改善してほしい点について）

- ・安全対策については適正だと思う
- ・安全の為なので必要とは思いますが、施策数に関しては少し精査できないかと感じている
- ・現場作業についてルールが増えて重荷となっているため、ルールを足し続けるのではなく改善をしていって欲しい
- ・NWカメラのスイッチが押されたかどうか（撮影されているかどうか）が現場では分かりづらいため、分かりやすくできないものか
- ・NWカメラの使用で安全をさらに意識するようになった
- ・NWカメラで事務所の方々も見守ってくれている為、危ないと感じる時に注意するのは良いと思う

#### Q. 現場での課題や問題、困りごとはありますか

- ・困りごとがあれば現場代理人に相談をするが、代理人が休みだと連絡できない時があるため、他に対応できる人がいると助かる
- ・設計のスキルが低く、図面で記載された所が施工不可の場面がある（架渉位置や建柱位置など）
- ・寒い中だとスマホ（タブレット類）の反応が悪く、操作ができないことがある
- ・毎年下期に工事が集中し、東北の冬期間の作業は非効率な為、年間スケジュールの平準化を希望
- ・冬季間はどうしても作業効率が落ちる事から、手袋や防寒着等冬季対策品を支給してほしい
- ・重複するが安全の為とは言え対策が多すぎるので、その分作業時間が多く掛かってしまい件数をこなせない

現場での対話において皆様から頂いた意見をもとに、各事業所での安全衛生委員会等の場で改善に向けた労使議論を行い、より良い職場環境の実現に向けて取り組みを行っていくこととします。

**期間中の現場パトロールへのご協力ありがとうございました！**